

# 日本ビタミン学会第 76 回大会プログラム

## (概要・座長一覧)

### 第 1 日目 6月8日(土)

第 I 会場 (県民ホール) 8F	第 II 会場 (リハーサル室) 8F	第 III 会場 (607) 6F	第 IV 会場 (601B・C) 6F
8:55 ~ 9:00 開会の辞 大会委員長 (第 I 会場)			
9:00 ~ 10:30 シンポジウム 1 「機能性食品研究とビタミン・ バイオフィクター学の接点」 (共催:日本フードファクター学会) (講演者) 津川 尚子 越阪部 奈緒美 村上 明 寺尾 純二 津川 尚子 村上 明 (座長)	9:00 ~ 10:20 酵素・タンパク質の構造・機能 (1) 若手依頼講演 (1) 今泉 璃城 1-II-1 ~ 5 (座長) 片岡 邦重 高橋 祥司	9:00 ~ 10:20 ストレス応答, シグナル伝達, 遺伝子発現調節 (1) 若手依頼講演 (3) 北風 智也 1-III-1 ~ 5 (座長) 石川 孝博 原田 直樹	9:00 ~ 10:20 疾患・予防・薬理作用 (1) 若手依頼講演 (5) 杉原 康平 1-IV-1 ~ 5 (座長) 西川 美宇 山本 浩範
10:40 ~ 11:40 ヒューマンニュートリション セッション 青 未空, 岸本 良美 栲原 晶子, 渡部 真吾 (座長) 瀧谷 公隆	10:30 ~ 11:50 代謝, 生合成, 動態と体内輸送 (1) 若手依頼講演 (2) 畑山 翔 1-II-6 ~ 10 (座長) 畑山 翔 丸田 隆典	10:30 ~ 11:50 栄養・食品機能 (1) 若手依頼講演 (4) 美藤 友博 1-III-6 ~ 10 (座長) 竹中 麻子 東村 泰希	10:30 ~ 11:50 疾患・予防・薬理作用 (2) 若手依頼講演 (6) 加藤 優吾 1-IV-6 ~ 10 (座長) 小暮健太郎 中川 公恵
11:50 ~ 13:10 ランチョンセミナー 1 (大正製薬株式会社) (講演者) 須藤 信行 荒井 秀典 (座長) 内藤 裕二			12:00 ~ 13:00 ランチョンセミナー 2 (Noster 株式会社) (講演者) 小川 順 Eran Blacher (ビデオ講演) (座長) 小川 順
13:30 ~ 13:50 総会 (代議員)			
13:50 ~ 14:05 表彰式 (功績者) (トピックス貢献賞・シンボルマーク)			
14:05 ~ 14:20 学会賞等授賞式			
14:30 ~ 14:45 企画・技術・活動賞受賞講演			
14:50 ~ 15:10 奨励賞受賞講演			
15:15 ~ 16:20 学会賞受賞講演			
16:30 ~ 17:30 特別講演 「戦国城下町一乗谷と医学 ～発掘された医師の実像～」 (講演者) 川越 光洋 (座長) 内藤 裕二			
18:30~20:30 情報交換会「THE FUKUI NIGHT」 会場:ザ・グランユアーズフクイ (ホテルフジタ福井内 3 階)「天山の間」			

※進行状況により, 時間が前後することがあります. ご了承ください.  
※第 III 会場は, 飲食不可です.

## 第2日目 6月9日(日)

第I会場 (県民ホール) 8F	第II会場 (リハーサル室) 8F	第III会場 (607) 6F	第IV会場 (601B・C) 6F
9:00～10:30 シンポジウム2 「酸化ストレス研究とビタミン・ バイオフィクター学の接点」 (共催：日本酸化ストレス学会) (講演者) 関根 弘樹 福井 浩二 松崎 秀夫 (座長) 今井 浩孝 仲川 清隆	9:00～10:20 酵素・タンパク質の構造・機能(2) 若手依頼講演(7) 林 順司 2-II-1～5 (座長) 川上 竜巳 米田 一成	9:00～10:20 ストレス応答、シグナル伝達、 遺伝子発現調節(2) 若手依頼講演(9) 安倍 知紀 2-III-1～5 (座長) 竹谷 豊 吉村 和也	9:00～10:20 代謝、生合成、動態と体内輸送(2) 若手依頼講演(11) 夜久 圭介 2-IV-1～5 (座長) 小川 貴央 鎌尾 まや
10:30～12:00 シンポジウム3 「抗加齢医学研究とビタミン・ バイオフィクター学の接点 ～ビタミンD研究の臨床的知見から～」 (共催：日本抗加齢医学会) (講演者) 越智 小枝 浦島 充佳 満尾 正 高木 智久 (座長) 瀧谷 公隆 市 育代	10:30～11:50 疾患・予防・薬理作用(3) 若手依頼講演(8) 小栗 靖生 2-II-6～10 (座長) 池田 彩子 斎藤 芳郎	10:30～11:50 栄養・食品機能(2) 若手依頼講演(10) 東村 泰希 2-III-6～10 (座長) 白川 仁 美藤 友博	10:30～11:50 分析、ケミカルバイオロジー (合成など) 若手依頼講演(12) 小関 喬平 2-IV-6～10 (座長) 田井 章博 棚谷 綾
	12:00～13:00 ランチョンセミナー3 (ミヤリサン製薬株式会社) (講演者) 永田 尚義 奥村 利勝 (座長) 安藤 朗		12:00～13:00 ランチョンセミナー4 (アスタキサンチン研究会・ 富士化学工業株式会社) (講演者) 西田 康宏 内藤 裕二 (座長) 矢澤 一良
	13:10～14:34 代謝、生合成、動態と体内輸送(3) 2-II-11～17 (座長) 伊藤 智和 黒澤 亮	13:10～14:34 疾患・予防・薬理作用(4) 2-III-11～17 (座長) 瀧谷 公隆 須原 義智	13:10～14:40 研究自由集会
14:00～16:35 市民公開講座 『福井から発信する Well-being 宣言!』 (講演者) 樂木 宏実 永田 尚義 堀 知佐子 内藤 裕二 (座長) 安藤 朗 尼子 克己	14:40～15:52 疾患・予防・薬理作用(5) 2-II-18～23 (座長) 大崎 雄介 榊 利之	14:40～15:52 疾患・予防・薬理作用(6) 2-III-18～23 (座長) 加来田博貴 平岡 真実	
	15:55～16:00 閉会の辞 大会委員長		

※進行状況により、時間が前後することがございます。ご了承ください。

※第III会場は、飲食不可です。

- ※ ヒューマンニュートリション選考委員会 6月8日(土) 11:40～11:50 楽屋2(8F)  
 ※ トピックス等担当委員会 6月9日(日) 12:10～13:00 研修室606(6F)  
 ※ 将来構想検討委員会 6月9日(日) 12:10～13:00 研修室605(6F)

## ご登壇者へのお知らせ

### ＜座長の先生へのごお願い＞

当日会場にお越しいただきましたら、大会受付 (AOSSA 8F) にお寄りください。

### ＜ご講演者へのごお願い＞

#### ●利益相反の有無の開示のごお願い

適切に利益相反の有無を開示してください。詳細は大会ウェブサイトをご覧ください。

大会ウェブサイト：<https://glm-p.com/vsojkn76/index.html>

#### ●特別講演，シンポジウム

- ・当日会場にお越しいただきましたら、大会受付 (AOSSA 8F) にお寄りください。
- ・特別講演，シンポジウムの講演時間は事前にお伝えした通りのご進行でお願いいたします。
- ・発表には大会事務局の PC，もしくはご自身の PC をご使用ください。セッション開始の 30 分前までに、第 1 会場の映像オペレーター卓まで発表データ，またはご自身の PC をお持ち込みください。前のセッション開催中でもオペレーターにお声がけいただくことができます。

※ USB メモリはウイルスチェックを行い，機密情報や個人情報を含まないものをご使用ください。

※ Mac や PowerPoint 以外のソフトを使用される方，動画をご利用される方は，ご自身のパソコンをご用意ください。

※外部映像出力端子が HDMI 以外の方は専用のコネクタを必ずご持参ください。

#### ●若手依頼講演，一般演題口頭発表

- ・当日会場にお越しいただきましたら，大会受付 (AOSSA8 階) にお寄りください。
- ・若手依頼講演はご講演 15 分 + 討論 5 分です。
- ・一般口頭発表はご講演 8 分 + 討論 4 分で，以下のようにベルを鳴らして進行いたします。

第 1 鈴：講演終了 1 分前，第 2 鈴：講演終了時間，第 3 鈴：討論終了時間

また，演題冒頭番号は (発表日) - (会場区分) - (発表順番)，講演者：○正会員，●学生会員と記載しております。

- ・発表データは原則として事前提出をお願いしております。当日は大会事務局のパソコン (Windows 環境の PowerPoint) を利用いただきご発表いただきます。

講演会場内に事前にいただいた発表データをご用意しておりますので，各セッション開始 30 分前までに会場にお越しください。

- ・バックアップとして念のため発表用のファイルを保存した USB メモリもご持参ください。USB メモリはウイルスチェックを行い，機密情報や個人情報を含まないものをご使用ください。

## ご来場の皆様へのお知らせ

### <会場受付開始時間について>

会場受付(AOSSA 8F)は1日目8時20分、2日目8時30分から行います。

### <ランチョンセミナーについて>

ご希望のランチョンセミナー会場に直接お越し下さい。整理券等はございませんが、席に限りがありますので先着順となります。

### <会場内の飲食について>

- ・第Ⅲ会場内は飲食不可となっておりますのでご協力の程宜しくお願い申し上げます。
- ・ランチョンセミナー開催時は、黙食・黙飲に、ご協力をお願いします。
- ・ご寄附いただいた飲料などは、6F休憩室にて提供いたします。飲食中は黙食・黙飲にご協力をお願いします。

### <ご来場時のお願い>

- ・発熱や咳症状など体調がすぐれない方のご来場はお控えください。
- ・参加中はマスク着用のご協力をお願いします。受付付近には消毒用アルコールを用意いたします。適宜ご利用ください。

### <クロークについて>

クロークをAOSSA 6Fに設置します。お預かり可能時間については、当日ご確認ください。

日本ビタミン学会第 76 回大会  
プログラム

【第 1 日目 (2024 年 6 月 8 日(土)) 第 I 会場】

- 8:55 ~ 9:00 開会の辞 大会委員長
- 9:00 ~ 10:30 シンポジウム 1 (共催: 日本フードファクター学会)  
 「機能性食品研究とビタミン・バイオフィクター学の接点」 (座長: 津川 尚子, 村上 明)  
 「ビタミン D 栄養改善を目的とした食品機能の再考」  
 津川 尚子 (神戸学院大学)  
 「感覚栄養学とポリフェノール」  
 越阪部 奈緒美 (芝浦工業大学)  
 「乳児における母乳フラボノイドの役割を考える」  
 村上 明 (兵庫県立大学)  
 「カロテノイドの生体内抗酸化作用を再考する」  
 寺尾 純二 (徳島大学)
- 10:40 ~ 11:40 ヒューマンニュートリションセッション (座長: 瀧谷 公隆)  
 「胃粘膜萎縮の程度とビタミン B<sub>12</sub> 栄養状態との関連」  
 青 未空 (大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部健康栄養学科)  
 「日本人の健康とポリフェノールならびにカロテノイド摂取との関わり」  
 岸本 良美 (摂南大学 農学部食品栄養学科)  
 「日本人若年女性におけるビタミン D 欠乏の実態と要因の探索並びに欠乏リスクツールの開発に資する研究」  
 栞原 晶子 (大阪公立大学大学院 生活科学研究科)  
 「セレン欠乏症を有する心不全患者の臨床的特徴」  
 渡部 真吾 (東京山手メディカルセンター 循環器内科)
- 11:50 ~ 13:10 ランチオンセミナー 1 (大正製薬株式会社) (座長: 内藤 裕二)  
 「脳科学研究の最前線」  
 「腸内細菌-腸-脳関連」  
 須藤 信行 (九州大学大学院)  
 「超高齢社会におけるサルコペニア, フレイルの意義~腸内細菌, ビタミンの役割を探る」  
 荒井 秀典 (国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター)

13:30～13:50 総会

13:50～14:05 シンボルマークの発表と授与式

功績者 表彰式

小城 勝相 奈良女子大学 名誉教授  
西野 輔翼 京都府立医科大学 名誉教授  
社団法人ビューティフルライフサイエンス協会 代表

トピックス貢献賞 表彰式

石神 昭人 東京都健康長寿医療センター研究所 副所長

14:05～14:20 学会賞, 奨励賞, 企画・技術・活動賞 授与式

14:30～14:45 企画・技術・活動賞 受賞講演

(座長: 柴田 克己)

「強化米事業を通じた栄養改善への取り組み」

ハウスウェルネスフーズ株式会社

岸 孝礼, 岡本 章太郎, 久保 毅, 道下 拓毅

14:50～15:10 奨励賞受賞講演

(座長: 石神 昭人)

「ビタミンE類縁体の抗がん作用およびビタミンCの生理機能に関する研究」

佐藤 綾美 (東京都健康長寿医療センター研究所 研究員)

15:15～16:20 学会賞受賞講演

15:15～15:45

(座長: 津川 尚子)

「作用選択的なビタミンD誘導体の創製研究」

橘高 敦史 (帝京大学薬学部医薬化学講座 教授)

15:50～16:20

(座長: 影近 弘之)

「ビタミンKおよび関連イソプレノイドのもつ新たな健康機能性に関する研究」

白川 仁 (東北大学大学院農学研究科 教授)

16:30～17:30 特別講演

(座長: 内藤 裕二)

「戦国城下町一乗谷と医学～発掘された医師の実像～」

川越 光洋 (福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館 副館長)

18:30～20:30 情報交換会

「THE FUKUI NIGHT」

会場: ザ・グランユアーズフクイ (ホテルフジタ福井内3階) 「天山の間」

## 【第 1 日目 (2024 年 6 月 8 日 (土)) 第 II 会場】

9:00 ~ 10:20 酵素・タンパク質の構造・機能 (1) (座長: 片岡 邦重, 高橋 祥司)  
 「若手依頼講演」(1)

「テルペノイド生合成に關与するシス型プレニルトランスフェラーゼの先端的立体構造解析と酵素機能改変」  
 今泉 璃城(金沢大学大学院自然科学研究科物質化学専攻)

### 一般演題 1-II-1 ~ 5

- 1-II-1 耐熱性 PQQ 依存性アルドース脱水素酵素を基盤とした直接電子移動型酵素の開発  
 ●前野美久<sup>1</sup>, 伊藤一樹<sup>1</sup>, 櫻庭春彦<sup>2</sup>, 大島敏久<sup>3</sup>, 末 信一郎<sup>4</sup>, 里村武範<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>福井大学大学院工学研究科, <sup>2</sup>香川大学農学部, <sup>3</sup>大阪工業大学工学部,  
<sup>4</sup>福井大学学術研究院工学系部門
- 1-II-2 好熱性真菌における  $\gamma$ -アミノ酪酸 (GABA) 酸化酵素の探索と解析  
 阿部一樹, 財津奏太, ○高橋祥司  
 長岡技術科学大学
- 1-II-3 MK-4 変換反応におけるナフトキノン環 2 位のメチル基の重要性  
 ●中川胡桃, 村田昂平, 小原沢諒人, 須原義智, 廣田佳久  
 芝浦工大院・システム理工・創薬科学
- 1-II-4 有機セレン新奇代謝系の細菌鍵酵素 TmsA の速度論的解析  
 ●曾羽香南子<sup>1</sup>, 越智杏奈<sup>1</sup>, 井上真男<sup>1,2</sup>, 青野陸<sup>1</sup>, 佐藤総一<sup>3</sup>, 小椋康光<sup>4</sup>, 三原久明<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>立命館大学・生命科学部, <sup>2</sup>立命館大学・R-GIRO, <sup>3</sup>東洋大学・理工学部,  
<sup>4</sup>千葉大学・大学院薬学研究院
- 1-II-5 PEG 修飾によるビリルビン酸化酵素の電極反応制御  
 炭ひなた<sup>1</sup>, 西田紗也加<sup>2</sup>, 加納健司<sup>2</sup>, 山下哲<sup>1</sup>, 宋和慶盛<sup>2</sup>, ○片岡邦重<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>金沢大学大学院自然科学研究科, <sup>2</sup>京都大学大学院農学研究科

10:30 ~ 11:50 代謝, 生合成, 動態と体内輸送 (1) (座長: 畑山 翔, 丸田 隆典)  
 「若手依頼講演」(2)

「ナイアシン栄養状態を低下させる因子の解明」  
 畑山 翔(滋賀県立大学 人間文化学部 生活栄養学科)

### 一般演題 1-II-6 ~ 10

- 1-II-6 ココナッツ油の摂取は組織中ビタミン E 含量を増加させる  
 ○小林美里, 壁谷親, 池田彩子  
 名古屋学芸大・管理栄養
- 1-II-7 PLAAT5 は精巢において抗炎症性 N-アシルエタノールアミンの生合成を担う  
 ○佐々木すみれ<sup>1</sup>, Mamun Sikder Mohammad<sup>1</sup>, 三木寿美<sup>2</sup>, 長崎祐樹<sup>2</sup>, 太田健一<sup>3</sup>, 星野克明<sup>4</sup>,  
 上野正樹<sup>5</sup>, 村上誠<sup>2</sup>, 上田夏生<sup>1</sup>, 宇山徹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>香川大・医・生化学, <sup>2</sup>東大院・医学系研究科・疾患生命工学センター,  
<sup>3</sup>香川大・医・神経機能形態学, <sup>4</sup>香川大・医・免疫学, <sup>5</sup>香川大・医・炎症病理学
- 1-II-8 植物アスコルビン酸生合成の律速酵素 GDP-L-Galactose phosphorylase の発現解析  
 ●田中泰裕<sup>1</sup>, 小川貴央<sup>1,2</sup>, 重岡成<sup>3</sup>, 丸田隆典<sup>1,2</sup>, 石川孝博<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>鳥取連大・生命資源, <sup>2</sup>鳥根大学・生物資源, <sup>3</sup>近畿大・附属農場
- 1-II-9 葉におけるアスコルビン酸再生能力の需要とアスコルビン酸プールサイズの関係  
 ●濱田あかね<sup>1,2</sup>, 小川貴央<sup>1,2</sup>, 石川孝博<sup>1,2</sup>, 丸田隆典<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>鳥根大院・自然科学, <sup>2</sup>鳥取大院・連合農
- 1-II-10 遮光条件の葉におけるアスコルビン酸分解の分子機構と分解産物の代謝  
 濱田珠未<sup>1</sup>, 山本虎次郎<sup>1</sup>, 宮城敦子<sup>2</sup>, 小川貴央<sup>1</sup>, 石川孝博<sup>1</sup>, ○丸田隆典<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>鳥根大院・自然科学, <sup>2</sup>山形大・農

## 【第1日目 (2024年6月8日(土)) 第Ⅲ会場】

9:00～10:20 ストレス応答, シグナル伝達, 遺伝子発現調節 (1) (座長: 石川 孝博, 原田 直樹)  
 「若手依頼講演」(3)

「プロビタミンAカロテノイドの骨格筋量調節作用」  
 北風 智也(大阪公立大学大学院農学研究科)

### 一般演題 1-Ⅲ-1～5

- 1-Ⅲ-1 ビタミンC不足がマウスの肝臓に及ぼす影響  
 ●光友丸華梨<sup>1</sup>, 佐藤綾美<sup>2</sup>, 福井浩二<sup>1</sup>, 石神昭人<sup>2</sup>, 近藤嘉高<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>芝浦工業大学システム理工学専攻, <sup>2</sup>東京都健康長寿医療センター研究所分子老化制御
- 1-Ⅲ-2 ビタミンCによるC2C12細胞の筋分化抑制機構  
 ●箕輪樹<sup>1</sup>, 刑部紀亜<sup>1</sup>, 佐藤綾美<sup>1</sup>, 町田修一<sup>2</sup>, 石神昭人<sup>1</sup>, 近藤嘉高<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京都健康長寿医療センター研究所分子老化制御, <sup>2</sup>順天堂大学スポーツ健康科学研究科
- 1-Ⅲ-3 骨格筋形成におけるレチノイン酸受容体 $\gamma$ の役割  
 ●大場智貴<sup>1</sup>, 岡野結衣<sup>1</sup>, 北風智也<sup>1</sup>, 原田直樹<sup>1</sup>, 山地亮一<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>大阪公大院・農, <sup>2</sup>大阪公大生資センター
- 1-Ⅲ-4 細胞質型アスコルビン酸ペルオキシダーゼによるグルタチオンレドックス状態と細胞死の制御  
 ●佐藤沙月, 菊樂香奈, 三富弦, 小川貴央, 石川孝博, 丸田隆典  
 島根大院・自然科学
- 1-Ⅲ-5 苔類ゼニゴケ変異体を用いたアスコルビン酸応答遺伝子の探索  
 ●吉田賢祐<sup>1</sup>, 田中泰裕<sup>2</sup>, 石田哲也<sup>1</sup>, 小川貴央<sup>1,2</sup>, 重岡成<sup>3</sup>, 丸田隆典<sup>1,2</sup>, 石川孝博<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>島根大院・自然科学, <sup>2</sup>鳥取連大・生命資源, <sup>3</sup>近畿大・附属農場

10:30～11:50 栄養・食品機能 (1) (座長: 竹中 麻子, 東村 泰希)  
 「若手依頼講演」(4)

「線虫を用いたビタミン・バイオフィクター研究  
 ～ビタミンB<sub>12</sub>欠乏症研究ツール/ヒト腸管を模擬した生物デバイス～」  
 美藤 友博(鳥取大学農学部生命環境農学科食品機能学分野)

### 一般演題 1-Ⅲ-6～10

- 1-Ⅲ-6 ビタミンC欠乏ラットにおける不安行動と脳内炎症の解析  
 ●増田佳林<sup>1</sup>, 竹中麻子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>明治大学大学院, <sup>2</sup>明治大学
- 1-Ⅲ-7 ビタミンCはBatf3遺伝子のDNA脱メチル化と発現増加を誘導し, CD8+T細胞(キラーT細胞)の免疫応答を亢進させる  
 ○近藤健太, 長谷川達矢, 口分田美奈, 縣保年  
 滋賀医科大学・医学部・生化学分子生物学講座分子生理化学部門
- 1-Ⅲ-8 肥満マウスにおける各脂肪組織中のトコリエノール量の解析と呼吸代謝能への影響  
 ●鈴木颯<sup>1</sup>, 卞峻赫<sup>1</sup>, 柏谷リチャード俊太郎<sup>1</sup>, 青木由典<sup>2</sup>, 福井浩二<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>芝浦工業大学大学院理工学研究科システム理工学専攻, <sup>2</sup>三菱ケミカル株式会社,  
<sup>3</sup>芝浦工業大学システム理工学部生命科学科
- 1-Ⅲ-9 ビタミンEは光による牛乳の脂質酸化を抑制する  
 渡部茜, 伊藤隼哉, ○仲川清隆  
 東北大院農・食品機能分析学
- 1-Ⅲ-10 Provitamin D含有食品の探索とUV-Bランプ照射によるvitamin D生成効率の検討  
 ○西野真由<sup>1</sup>, 竹林輝<sup>2</sup>, 松浦基樹<sup>2</sup>, 津川尚子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>神戸学院大・栄養, <sup>2</sup>株式会社KDW



## 【第 1 日目 (2024 年 6 月 8 日 (土)) 第 IV 会場】

9:00 ~ 10:20 疾患・予防・薬理作用 (1) (座長：西川 美宇, 山本 浩範)  
 「若手依頼講演」(5)

「炎症性腸疾患における食事性セリンの役割の解明～食事介入に対する腸内細菌叢の影響～」

杉原 康平(大阪大学 IFReC 免疫微生物学)

### 一般演題 1-IV-1 ~ 5

- 1-IV-1 疾患リスクを考慮したビタミンのバイオマーカーの位置づけ  
 ○田中清<sup>1</sup>, 青未空<sup>2</sup>, 栗原晶子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>静岡県立総合病院, <sup>2</sup>大阪樟蔭女子大学, <sup>3</sup>大阪公立大学
- 1-IV-2 病型診断およびビタミン D・カルシウムの充足度調査を行った偽性副甲状腺機能低下症の一例  
 ○山本浩範<sup>1</sup>, 鍵主光里<sup>1</sup>, 首藤恵美<sup>2</sup>, 武田英二<sup>3</sup>, 竹谷豊<sup>3</sup>, 岸慎治<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>仁愛大学人間生活学部健康栄養学科, <sup>2</sup>岡山県立大学保健福祉学部栄養学科,  
<sup>3</sup>徳島大院・医歯薬・臨床食管理
- 1-IV-3 分解耐性型ビタミン D 誘導体は細胞治療法に利用可能な多能性細胞の骨分化誘導に有用である  
 ○石澤通康<sup>1</sup>, 高野真史<sup>2</sup>, 橘高敦史<sup>2</sup>, 松本太郎<sup>3</sup>, 槇島誠<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>日本大学医学部生化学分野, <sup>2</sup>帝京大学薬学部, <sup>3</sup>日本大学医学部細胞再生・移植医学分野
- 1-IV-4 変異型ビタミン D 受容体に高い親和性を有する新規誘導体の探索  
 ●岡本侑樹<sup>1</sup>, 真野寛生<sup>1</sup>, 川越文裕<sup>2</sup>, 高野真史<sup>2</sup>, 西川美宇, 生城真一<sup>1</sup>, 橘高敦史<sup>2</sup>, 榊利之<sup>1</sup>,  
 安田佳織<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>富山県大工, <sup>2</sup>帝京大薬
- 1-IV-5 3CL プロテアーゼ阻害活性を有する新規ビタミン K<sub>3</sub> 誘導体の創製  
 ●笹嶋美紀<sup>1</sup>, 小原沢諒人<sup>1</sup>, 早川真由<sup>2</sup>, 武田一貴<sup>3</sup>, 廣田佳久<sup>2</sup>, 須原義智<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>芝浦工大・システム理工・創薬化学, <sup>2</sup>芝浦工大・システム理工・分子生物学,  
<sup>3</sup>北里大・獣医・毒性

10:30 ~ 11:50 疾患・予防・薬理作用 (2) (座長：小暮 健太郎, 中川 公恵)  
 「若手依頼講演」(6)

「トコトリエノールの抗肥満作用に関して」

加藤 優吾(鳥取大学医学部病態解析医学講座生化学分野)

### 一般演題 1-IV-6 ~ 10

- 1-IV-6 ビタミン E コハク酸によるがん細胞特異的アポトーシス誘導機構の検討  
 ●清藤迪子<sup>1</sup>, Ray Manobendro Nath<sup>2</sup>, 大園瑞音<sup>3</sup>, 小暮健太郎<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>徳島大学薬学部, <sup>2</sup>徳島大学大学院薬学研究科, <sup>3</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部
- 1-IV-7 ビタミン E エーテル誘導体の構造安定性と脂肪蓄積抑制効果  
 ●林生成<sup>1</sup>, Tapu S.M. Tafsirul Alam<sup>1</sup>, 中尾允泰<sup>2</sup>, 佐野茂樹<sup>2</sup>, 小暮健太郎<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>徳島大学大学院薬学研究科, <sup>2</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部
- 1-IV-8 Novel vitamin E derivative ameliorates obesity in high-fat-diet induced obese mice  
 ●Tapu S M Tafsirul Alam<sup>1</sup>, Kinari Hayashi<sup>1</sup>, Michiyasu Nakao<sup>2</sup>, Shigeki Sano<sup>2</sup>, Kentaro Kogure<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Tokushima University,  
<sup>2</sup>Graduate School of Biomedical Sciences, Tokushima University
- 1-IV-9 骨・軟骨形成におけるビタミン K 変換酵素 UBIAD1 および Menaquinone-4 の機能解析  
 ○平島俊亮, 清岡恭乃, 嘉悦慎一郎, 中川公恵  
 神戸学院大・薬
- 1-IV-10 脂肪組織におけるビタミン K 変換酵素 (UBIAD1) の機能解析  
 ○中川公恵, 堀米梨花, 名倉萌々花, 佐伯萌佳, 平島俊亮  
 神戸学院大・薬

12:00～13:00 ランチオンセミナー2 (Noster 株式会社)

(座長：小川 順)

「腸内細菌代謝物と健康－ビタミンが仲介する腸内細菌と神経系のクロストークを例に－」

「腸内細菌代謝物と健康－ビタミンが仲介する腸内細菌と神経系のクロストークを例に－」

小川 順 (京都大学大学院)

「Our gut microbiome in neurological health and disease」

Eran Blacher (The Hebrew University of Jerusalem)

## 【第 2 日目 (2024 年 6 月 9 日 (日)) 第 I 会場】

9:00 ~ 10:30 シンポジウム 2 (共催：日本酸化ストレス学会)  
「酸化ストレス研究とビタミン・バイオフィクター学の接点」

(座長：今井 浩孝, 仲川 清隆)

「酸素感知代謝物としてのビタミン B<sub>6</sub> の機能」

関根 弘樹 (東北大学)

「トコトリエノールの神経保護作用について」

福井 浩二 (芝浦工業大学)

「自閉症とビタミン」

松崎 秀夫 (福井大学)

10:30 ~ 12:00 シンポジウム 3 (共催：日本抗加齢医学会)  
「抗加齢医学研究とビタミン・バイオフィクター学の接点  
～ビタミン D 研究の臨床的知見から～」

(座長：瀧谷 公隆, 市 育代)

「リアルワールドデータから見るビタミン D 研究の課題」

越智 小枝 (東京慈恵会医科大学)

「ビタミン D サプリメントは癌の再発・死亡を抑止できるか？」

浦島 充佳 (東京慈恵会医科大学)

「ビタミン D と抗加齢医療」

満尾 正 (満尾クリニック)

「健常高齢者における血中ビタミン D 濃度の挙動～京丹後長寿コホート研究からの知見をもとに～」

高木 智久 (京都府立医科大学)

14:00 ~ 16:35 市民公開講座

『福井から発信する Well-being 宣言！』

主催：京都府立医科大学 生体免疫栄養学講座

共催：日本ビタミン学会 第 76 回大会

(座長：安藤 朗, 尼子 克己)

「目指せ幸福長寿！老けないために、老けても幸せな社会のために」

樂木 宏実 (大阪ろうさい病院 院長 / 大阪大学 名誉教授)

「病気にかからず長生きするための腸活とは？：驚くべき日本人研究結果を含めて」

永田 尚義 (東京医科大学 消化器内視鏡学分野 准教授)

「今こそ始めよう！福井から始まった食育」

堀 知佐子 (菊乃井 常務取締役 / 管理栄養士・食生活アドバイザー)

「杉田玄白「養生七不可」を腸から紐解く」

内藤 裕二 (京都府立医科大学生体免疫栄養学講座 教授)

## 【第2日目 (2024年6月9日(日)) 第II会場】

9:00～10:20 酵素・タンパク質の構造・機能(2) (座長:川上 竜巳, 米田 一成)  
 「若手依頼講演」(7)

「アスパラギン酸経路における鍵酵素の構造生物学的研究」  
 林 順司(徳島大学生物資源産業学部食料科学コース)

### 一般演題 2-II-1～5

- 2-II-1 古細菌型メバロン酸経路に存在するプレニル化フラビン要求性デカルボキシラーゼの特性評価  
 ●石川りの, 松嶋夏海, 伊藤智和, 邊見久  
 名古屋大学大学院生命農学研究科
- 2-II-2 超好熱アーキア由来プロリン脱水素酵素複合体のプロリン合成活性の比較  
 ○川上竜巳<sup>1</sup>, 林順司<sup>1</sup>, 櫻庭春彦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>徳島大院・生物資源, <sup>2</sup>香川大・農
- 2-II-3 モウセンゴケ属食虫植物 *Drosera adelae* 由来キチナーゼの構造と機能解析  
 ○米田一成<sup>1</sup>, 成瀬佑樹<sup>2</sup>, 星良和<sup>3</sup>, 荒木朋洋<sup>4</sup>, 櫻庭春彦<sup>5</sup>, 大島敏久<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>東海大・農・食生命, <sup>2</sup>東海大院・農, <sup>3</sup>東海大・農・農, <sup>4</sup>東海大・総農研,  
<sup>5</sup>香川大・農・応用生物科学, <sup>6</sup>大阪工大・工・生命
- 2-II-4 甘草由来機能性成分であるカルコン抱合代謝物の網羅的な酵素合成  
 ●蔵川卓土, Julia Sultana, 深谷圭介, 西川美宇, 生城真一  
 富山県大・工・生物工
- 2-II-5 GGCX の作用メカニズム解明を目指した近接タンパク質の包括的な探索法  
 ●久保田優希<sup>1,2</sup>, 竹岩俊彦<sup>2</sup>, 廣田佳久<sup>1</sup>, 井上聡<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>芝浦工大・システム理工・創薬科学, <sup>2</sup>東京都健康長寿医療センター研究所・システム加齢医学

10:30～11:50 疾患・予防・薬理作用(3) (座長:池田 彩子, 斎藤 芳郎)  
 「若手依頼講演」(8)

「テトラヒドロビオプテリンを介した褐色脂肪細胞および全身のエネルギー・糖代謝調節機構」  
 小栗 靖生(京都大学大学院農学研究科 食品生物科学専攻 栄養化学分野)

### 一般演題 2-II-6～10

- 2-II-6 ビタミンEコハク酸の細胞障害性制御による抗肥満効果の誘導  
 瀬戸唯加<sup>1</sup>, 山崎美沙季<sup>2</sup>, ○小暮健太郎<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>徳島大学大学院薬学研究科, <sup>2</sup>徳島大学薬学部, <sup>3</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部
- 2-II-7 リポキシトラーゼ実行因子 Lipo-1, Lipo-2 KO マウスの解析  
 ○松岡正城, 今井浩孝  
 北里大・薬・衛生化学
- 2-II-8 心不全突然死を抑制する CPZ 耐性腸内細菌のビタミンE要求性とその抑制機構の解析  
 ●渡邊成瞳, 幸村知子, 今井浩孝  
 北里大・薬
- 2-II-9 2種類の軟骨特異的 Cre マウスを用いた軟骨特異的 GPx4 欠損マウスの性状解析  
 ●中嶋柁, 太田真優, 今井浩孝  
 北里大・薬
- 2-II-10 EPC による新たな細胞死抑制機能の解析  
 ●古里紗葵<sup>1</sup>, 須藤由季映<sup>1</sup>, 松岡正城<sup>1</sup>, 下村明日香<sup>2</sup>, 森俊裕<sup>2</sup>, 今井浩孝<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>北里大・薬・衛生化学, <sup>2</sup>(株)マンダム

12:00 ~ 13:00 ランチオンセミナー 3 (ミヤリサン製薬株式会社)

(座長: 安藤 朗)

## 〔脳と腸の不思議な役割を理解する〕

「日本人の 5,200 例の腸内マイクロバイオームの特徴」

永田 尚義 (東京医科大学)

「脳による敗血症制御メカニズム: 神経ペプチド オレキシンとグレリンの関与」

奥村 利勝 (旭川医科大学)

13:10 ~ 14:34 代謝, 生合成, 動態と体内輸送 (3)

(座長: 伊藤 智和, 黒澤 亮)

## 一般演題 2-II-11 ~ 17

2-II-11 若年女性における血清 5-メチルテトラヒドロ葉酸と、ワンカーボン代謝関連代謝物濃度および酵素活性指標との関連

○久保佳範<sup>1,2</sup>, 庄司久美子<sup>1</sup>, 田島亜紀子<sup>1</sup>, 堀口さやか<sup>1</sup>, 福岡秀興<sup>3</sup>, 西川正純<sup>4</sup>, 香川靖雄<sup>1</sup>, 川端輝江<sup>1</sup><sup>1</sup>女子栄養大学栄養学部, <sup>2</sup>滋賀医科大学医学部, <sup>3</sup>福島医科大学医学部, <sup>4</sup>宮城大学食産業学群

2-II-12 非妊娠女性の月経周期とワンカーボン代謝

○庄司久美子<sup>1</sup>, 久保佳範<sup>1,2</sup>, 田島亜紀子<sup>1</sup>, 堀口さやか<sup>1</sup>, 西川正純<sup>3</sup>, 香川靖雄<sup>1</sup>, 福岡秀興<sup>4</sup>, 川端輝江<sup>1</sup><sup>1</sup>女子栄養大学栄養学部, <sup>2</sup>滋賀医科大学医学部, <sup>3</sup>宮城大学食産業学群, <sup>4</sup>福島医科大学医学部2-II-13 種鶏へのビタミン D<sub>3</sub> 強化飼料給与が初生雛に及ぼす影響●山田真菜<sup>1</sup>, 黒澤亮<sup>2</sup><sup>1</sup>東京農大院・農, <sup>2</sup>東京農大・農

2-II-14 ミトコンドリア DNA 低下細胞株の CoenzymeQ10 増加機構の解明

○岡本瑞穂, 奥泉怜奈, 蛭田紗生, 須賀祐輔, 中村朱里, 山本順寛, 藤沢章雄, 加柴美里  
東京工科大学応用生物学部2-II-15 葉酸の  $\alpha$ -ポリグルタミル化を触媒する新奇酵素の同定

小瀬有理奈, 田中美穂, 邊見久, ○伊藤智和

<sup>1</sup>名古屋大学大学院生命農学研究科2-II-16 大腸菌由来  $\alpha$ -ポリグルタミル化葉酸合成酵素ホモログの機能保存性

●中村梨歩, 田中美穂, 小瀬有理奈, 邊見久, 伊藤智和

名古屋大学大学院生命農学研究科

2-II-17  $\beta$ -carotene 体内濃度の性差に関する研究

森崎隆史, ○竹中麻子

<sup>1</sup>明治大学大学院農学研究科, <sup>2</sup>明治大学農学部

14:40 ~ 15:52 疾患・予防・薬理作用 (5)

(座長: 大崎 雄介, 榎 利之)

## 一般演題 2-II-18 ~ 23

2-II-18 膵がんにおける安定化ビタミン E 誘導体の補完・代替医療成分としての可能性

●森立葵<sup>1</sup>, 矢野友啓<sup>2</sup>, 佐藤綾美<sup>3,4</sup><sup>1</sup>東洋大学大学院健康スポーツ科学研究科栄養科学専攻, <sup>2</sup>東洋大学健康スポーツ科学部栄養科学科,<sup>3</sup>東洋大学ライフイノベーション研究所, <sup>4</sup>東京都健康長寿医療センター

2-II-19 肝細胞がんに対する増殖抑制作用を向上させた非環式レチノイド誘導体の創製

●廣川直希<sup>1</sup>, 加藤菜々子<sup>1</sup>, 田中圭紀<sup>2</sup>, 矢嶋伊知朗<sup>2</sup>, 須原義智<sup>1</sup>,<sup>1</sup>芝浦工大・システム理工・創薬化学, <sup>2</sup>芝浦工大・システム理工・分子細胞毒性

2-II-20 食餌性および遺伝性ビタミン D 欠乏モデルラットにおける肝線維化のリスク評価

●出町佳祐, 大島郁弥, 生城真一, 西川美宇

富山県立大学

- 2-II-21 レスベラトロール関連化合物は非アルコール性脂肪性肝疾患モデルマウスの肝臓線維化を抑制する  
Tohfa Kabir, 吉場春輝, Afifah Zahra Agista, ○大崎雄介, 駒井三千夫, 白川仁  
東北大・院農・栄養学
- 2-II-22 ビタミンD 欠乏モデルマウスを用いた薬剤誘導性大腸炎に対するマイタケの投与効果  
●宮城里彩, 釘宮優希, 生城真一, 西川美宇  
富山県大・工・生物工
- 2-II-23 遺伝性および食餌誘導性ビタミンD シグナル欠乏ラットにおける薬剤誘導性大腸炎の病態解析  
●釘宮優希, 宮城里彩, 榊利之, 生城真一, 西川美宇  
富山県大・工・生物工

15:55 ~ 16:00 閉会の辞 大会委員長

## 【第 2 日目 (2024 年 6 月 9 日 (日)) 第 III 会場】

9:00 ~ 10:20 ストレス応答, シグナル伝達, 遺伝子発現調節 (2) (座長: 竹谷 豊, 吉村 和也)  
 「若手依頼講演」(9)

「食品成分による PKA/HSL 経路を標的とした抗肥満作用」

安倍 知紀(国立研究開発法人産業技術総合研究所細胞分子工学研究部門)

### 一般演題 2-III-1 ~ 5

2-III-1 ウチワサボテン (*Nopalea cochenillifera*) のアスコルビン酸蓄積量の組織特異性と環境応答性の解析

●王翹楚<sup>1</sup>, 長田武<sup>2</sup>, 木村祐琴<sup>2</sup>, 吉村和也<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>中部大院・応生, <sup>2</sup>中部大・応生・食栄

2-III-2 *Bacillus subtilis* における round-body の形成メカニズムと亜セレン酸還元への影響

○越智杏奈, 井上真男, 青野陸, 水上博貴, 植田響輝, 三原久明

立命大・生命

2-III-3 フェロトーシスにおける過酸化リン脂質の分解によるラジカルの形成とビタミン E による抑制

○加藤主税<sup>1</sup>, 山崎寛之<sup>1</sup>, 加藤俊治<sup>2</sup>, 仲川清隆<sup>2</sup>, 日野真吾<sup>3</sup>, 西村直道<sup>3</sup>, 竹腰進<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東海大医, <sup>2</sup>東北大院農, <sup>3</sup>静岡大院農

2-III-4 老化に伴う腎臓内ビタミン A 量の増加機序の解明

●小林美咲<sup>1</sup>, 増田真志<sup>1</sup>, 春本恵里花<sup>1</sup>, 山本菜摘<sup>1</sup>, 大南博和<sup>1</sup>, 山本浩範<sup>2</sup>, 竹谷豊<sup>1</sup>

<sup>1</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床食管理学分野, <sup>2</sup>仁愛大学人間生活学部健康栄養学科

2-III-5 Vitamin D<sub>3</sub> 代謝体 secalciferol による自然免疫における抗炎症効果の解析

●見山さくら<sup>1</sup>, 高濱充寛<sup>1</sup>, 武村直紀<sup>1</sup>, 齊藤達哉<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>阪大院薬, <sup>2</sup>阪大 MEI セ, <sup>3</sup>阪大 CiDER

10:30 ~ 11:50 栄養・食品機能 (2)

(座長: 白川 仁, 美藤 友博)

「若手依頼講演」(10)

「線虫 *Caenorhabditis elegans* を用いた食品成分の機能性評価について」

東村 泰希(石川県立大学・生物資源環境学部・食品科学科)

### 一般演題 2-III-6 ~ 10

2-III-6 Poly (I:C) を用いたウイルス感染様細胞におけるビタミン K 誘導体の評価

●早川真由<sup>1</sup>, 山口華奈<sup>1</sup>, 廣田佳久<sup>1</sup>

<sup>1</sup>芝浦工大・システム理工・創薬科学

2-III-7 フェロトーシスに対するビタミン K 同族体や誘導体の構造特異性の評価

●渡邊莉菜<sup>1</sup>, 加藤主税<sup>2,3</sup>, 竹腰進<sup>3</sup>, 須原義智<sup>1</sup>, 廣田佳久<sup>1</sup>

<sup>1</sup>芝浦工大・システム理工・創薬科学, <sup>2</sup>静岡大・農・食品生命科学, <sup>3</sup>東海大・医・生体防御

2-III-8 マウス海馬由来 HT-22 細胞へのエラスチン処理により誘導される細胞死に対する MK-4 ならびに GGOH の保護効果

●鈴木藍花<sup>1</sup>, 佐藤雅<sup>1</sup>, 何欣蓉<sup>2</sup>, Afifah Zahra Agista<sup>1</sup>, 大崎雄介<sup>1</sup>, 野地智法<sup>1</sup>, 北澤春樹<sup>1</sup>, 白川仁<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東北大・院農, <sup>2</sup>北大・保健科学院

2-III-9 Effects of feeding of vitamin K deficient diet on bile acid homeostasis and associated microbial changes in mice.

●Tohfa Kabir<sup>1</sup>, Michiya Nishikido<sup>1</sup>, Masamitsu Maekawa<sup>2</sup>, Jahidul Islam<sup>3</sup>, Afifah Zahra Agista<sup>1</sup>, Yusuke Ohsaki<sup>1</sup>, Tomonori Nochi<sup>3</sup>, Michio Komai<sup>1</sup>, Hitoshi Shirakawa<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Lab. Nutri., Grad. Sch. Agri. Sci., Tohoku Univ., <sup>2</sup>Dep. Pharm. Sci., Tohoku Univ. Hospital,

<sup>3</sup>Lab. Anim. Funct. Morphol., Grad. Sch. Agri. Sci., Tohoku Univ.

## 2-Ⅲ-10 ビタミン A 応答性マイオカイン HtrA3 の骨格筋における機能

○北風智也<sup>1</sup>, 原田直樹<sup>1</sup>, 山地亮一<sup>1,2</sup><sup>1</sup>大阪公大院・農, <sup>2</sup>大阪公大・生資センター

## 13:10 ~ 14:34 疾患・予防・薬理作用 (4)

(座長: 瀧谷 公隆, 須原 義智)

## 一般演題 2-Ⅲ-11 ~ 17

## 2-Ⅲ-11 後期高齢者にとっての新たなビタミン D の意義

○武田英二<sup>1</sup>, 梅本誠彦<sup>2</sup>, 兵藤瑞紗<sup>3</sup>, 森下照大<sup>1</sup>, 堤理恵<sup>3</sup>, 阪上浩<sup>3</sup>, 竹谷豊<sup>4</sup><sup>1</sup>専門学校健祥会学園, <sup>2</sup>健祥会グループ高齢者施設 センターヴィレッジ,<sup>3</sup>徳島大学大学院医歯薬研究部, 代謝栄養学分野,<sup>4</sup>徳島大学大学院医歯薬研究部, 臨床食管理学分野

## 2-Ⅲ-12 地域在住日本人高齢者における血清ピリドキサル 5'-リン酸濃度とプレフレイルの横断的観察研究

●太田舞花<sup>1</sup>, 栗原晶子<sup>1</sup>, 改元香<sup>2</sup>, 真邊久美<sup>3</sup>, 今村佳代子<sup>3</sup>, 牧迫飛雄馬<sup>4</sup>, 窪菌琢郎<sup>5</sup>,大石充<sup>5</sup>, 竹中重雄<sup>1</sup>, 叶内宏明<sup>1</sup><sup>1</sup>大阪公大院・生活科・食栄養, <sup>2</sup>鹿児島県栄養士会, 鹿児島女子短大・生活科,<sup>3</sup>鹿児島県栄養士会, 鹿児島純心大・看護, <sup>4</sup>鹿児島大・医・保健,<sup>5</sup>鹿児島大院・医歯学・心臓血管・高血圧内科

## 2-Ⅲ-13 紫外線計測データに基づく新生児の血液中ビタミン D 濃度と日光浴時間からの推計値との相関に関する研究

○中島英彰<sup>1</sup>, 坂本優子<sup>2</sup>, 佐々木徹<sup>1</sup>, 本田由佳<sup>3</sup><sup>1</sup>国立環境研究所・地球システム領域, <sup>2</sup>順天堂大学医学部附属練馬病院,<sup>3</sup>慶應義塾大学政策・メディア研究科

## 2-Ⅲ-14 高齢ラットにおけるピリドキサル 5'-リン酸吸収能の低下および血漿 4-PA/PLP 比の上昇

●伊藤皇太郎<sup>1</sup>, 竹中重雄<sup>2</sup>, 叶内宏明<sup>2</sup><sup>1</sup>大阪公大・生活科学研究科, <sup>2</sup>大阪公大院・食栄養

## 2-Ⅲ-15 ネフローゼ症候群モデルラットにおける Am80 の腎保護作用

○ト部馨介<sup>1</sup>, 瀧谷公隆<sup>1</sup>, 影近弘之<sup>2</sup>, 芦田明<sup>1</sup><sup>1</sup>大阪医科薬科大学, <sup>2</sup>東京医科歯科大学生体材料工学研究所2-Ⅲ-16 ビタミン B<sub>12</sub> 欠乏が線虫 *Caenorhabditis elegans* の社会行動に及ぼす影響

●岡崎生真, 美藤友博

鳥取大学院・持続性社会創生

## 2-Ⅲ-17 GGCX 阻害活性を有する新規ビタミン K 誘導体の創製

●宇佐美昂紀<sup>1</sup>, Xuejie Chen<sup>2</sup>, Jian-Ke Tie<sup>2</sup>, 須原義智<sup>1</sup><sup>1</sup>芝浦工大・システム理工・創薬化学, <sup>2</sup>ノースカロライナ大・生物



14:40 ~ 15:52 疾患・予防・薬理作用 (6)

(座長：加来田 博貴, 平岡 真実)

## 一般演題 2-III-18 ~ 23

2-III-18 シクロアルカンの導入により神経分化誘導活性の増強を目指した新規ビタミン K 誘導体の創製

●井口莉里花<sup>1</sup>, 呉雨馨<sup>2</sup>, 廣田佳久<sup>2</sup>, 須原義智<sup>1</sup><sup>1</sup>芝浦工大・システム理工・創薬化学, <sup>2</sup>芝浦工大・システム理工・分子生物学

2-III-19 側鎖末端へのアルキル鎖導入により神経分化誘導活性の増強を目指した新規ビタミン K 誘導体の合成

●佐藤秀崇<sup>1</sup>, 呉雨馨<sup>2</sup>, 廣田佳久<sup>2</sup>, 須原義智<sup>1</sup><sup>1</sup>芝浦工大・システム理工・創薬化学, <sup>2</sup>芝浦工大・システム理工・分子生物学

2-III-20 葉酸, ホモシステイン代謝とビタミン D 栄養状態の関連

○平岡真実<sup>1</sup>, 坂本香織<sup>2</sup>, 庄司久美子<sup>2</sup>, 百合本真弓<sup>2</sup>, 金胎芳子<sup>3</sup>, 影山光代<sup>4</sup>, 香川靖雄<sup>2</sup><sup>1</sup>千葉県立保健医療大, <sup>2</sup>女子栄養大, <sup>3</sup>東京家政大, <sup>4</sup>晃陽看護栄養専2-III-21 *Photobacterium phosphoreum* のヒスタミン生成における加水分解性タンニンの生成抑制効果●高津はづき<sup>1</sup>, 葛西円<sup>1</sup>, 新田陽子<sup>2</sup><sup>1</sup>お茶の水女子大学大学院ライフサイエンス専攻食品栄養科学コース,<sup>2</sup>お茶の水女子大学基幹研究院

2-III-22 抗 SARS-CoV-2 活性の増強を目指した新規ビタミン K 誘導体の創製

●金子達哉<sup>1</sup>, 岡本実佳<sup>2</sup>, 本間大暉<sup>1</sup>, 馬場昌範<sup>2</sup>, 須原義智<sup>1</sup><sup>1</sup>芝浦工大・システム理工・創薬化学, <sup>2</sup>鹿児島大・先端科学研究推進センター

2-III-23 水浸拘束ストレス負荷ラット副腎のアスコルビン酸と酸化ストレスおよび HSP25 誘導との関連

○八代耕児<sup>1</sup>, 太田好次<sup>1</sup>, 福澤健治<sup>2</sup><sup>1</sup>藤田医科大学医学部化学, <sup>2</sup>安田女子大学薬学部

## 【第2日目 (2024年6月9日(日)) 第IV会場】

9:00～10:20 代謝, 生合成, 動態と体内輸送(2) (座長: 小川 貴央, 鎌尾 まや)  
 「若手依頼講演」(11)

「腸内細菌は NAD<sup>+</sup> 前駆体の体内利用に重要な役割を果たしている」  
 夜久 圭介(富山大学学術研究部医学系分子医科薬理学)

### 一般演題 2-IV-1～5

2-IV-1 植物におけるビタミン B<sub>2</sub> 輸送体の機能解析

●柴田類<sup>1</sup>, 桑田日佳里<sup>2</sup>, 丸田隆典<sup>1,2</sup>, 石川孝博<sup>1,2</sup>, 小川貴央<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>島根大・生資科・生命科学, <sup>2</sup>島根大院・自然科学

2-IV-2 先天性ビタミン B<sub>12</sub> 代謝異常症原因遺伝子 *cbI* RNAi によるヒト神経芽腫細胞の神経様分化抑制と代謝変動

●溝端早紀<sup>1</sup>, 高松愛梨<sup>2</sup>, 中野寧音<sup>3</sup>, 松村成暢<sup>4</sup>, 叶内宏明<sup>1,2,4</sup>, 竹中重雄<sup>1,2,4</sup>  
<sup>1</sup>大阪公立大学大学院生活科学研究科食栄養学分野,  
<sup>2</sup>大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究所,  
<sup>3</sup>大阪府立大学総合リハビリテーション学類栄養療法学専攻,  
<sup>4</sup>大阪府立大学地域保健学域総合リハビリテーション学類栄養療法学専攻

2-IV-3 出芽酵母におけるエリスロアスコルビン酸の生合成経路

○尼子克己, 阿木渚彩, 江端美裕  
 仁愛大学人間生活学部

2-IV-4 若齢期のメタボリック症候群モデルラットにおけるビタミン C 排泄量の増加

三澤莉帆<sup>1</sup>, 田路莉子<sup>1</sup>, 金東浩<sup>1</sup>, 佐伯茂<sup>1</sup>, 小林美里<sup>2</sup>, 阪野朋子<sup>3</sup>, 池田彩子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>大阪公立大学大学院生活科学研究科, <sup>2</sup>名古屋学芸大学管理栄養学部,  
<sup>3</sup>名古屋女子大学短期大学部

2-IV-5 ビタミン K 体内動態の理解を目指したビタミン K 抱合体測定法の確立

●田上晋太郎<sup>1</sup>, 浅野公志<sup>1</sup>, 鎌尾まや<sup>2</sup>, 大島将<sup>1,3</sup>, 須原義智<sup>1</sup>, 西川美宇<sup>4</sup>, 生城真一<sup>4</sup>,  
 廣田佳久<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>芝浦工大・システム理工・創薬科学, <sup>2</sup>神戸薬大・エクステンションセンター,  
<sup>3</sup>自治医科大学附属さいたま医療センター泌尿器科, <sup>4</sup>富山県立大・工・機能性食品工学

10:30～11:50 分析, ケミカルバイオロジー(合成など) (座長: 田井 章博, 棚谷 綾)  
 「若手依頼講演」(12)

「食品に含まれる葉酸化合物の簡便な分析方法の検討」  
 小関 喬平(石川県立大学 生物資源環境学部 食品科学科)

### 一般演題 2-IV-6～10

2-IV-6 蛍光ラベル化アスコルビン酸誘導体のライブセルイメージング

●西岡葉李<sup>1</sup>, 青田湧介<sup>2</sup>, 加来田博貴<sup>3</sup>, 古賀武尊<sup>4</sup>, 田井章博<sup>2,4</sup>  
<sup>1</sup>徳島大院・創成科学研究科, <sup>2</sup>県立広島大・生命環境, <sup>3</sup>岡山大院・医歯薬,  
<sup>4</sup>徳島大院・社会産業理工

2-IV-7 FAD 依存性 Sulfide quinone oxidoreductase を素子とした硫化水素検出バイオセンサの開発

●田島魁人<sup>1</sup>, 金尾忠芳<sup>2</sup>, 末信一朗<sup>3</sup>, 里村武範<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>福井大学・工学研究科・産業創成工学専攻, <sup>2</sup>岡山大学大学院・環境生命自然科学研究科,  
<sup>3</sup>福井大学・学術研究院・工学系部門

2-IV-8 蛍光標識化レチノイド X 受容体 (RXR) を利用したコファクター特異性に基づく新たなリガンド探索技術の創出に関する研究

●田中優希奈<sup>1</sup>, 川崎真由<sup>2</sup>, 中野祥吾<sup>3</sup>, 加来田博貴<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 岡山大学院医歯薬学総合研究科, <sup>2</sup> 静岡県立大学薬食生命科学総合学府,

<sup>3</sup> 静岡県立大学食品栄養科学部

2-IV-9 リトコール酸誘導体 Dcha-20 の殺鼠剤としての有用性の検証

●小倉千春<sup>1</sup>, 岡村佳奈<sup>1</sup>, 長岡慧<sup>2</sup>, 武田一貴<sup>3</sup>, 影近弘之<sup>4</sup>, 棚谷綾<sup>1</sup>

<sup>1</sup> お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科理学専攻, <sup>2</sup> 大丸合成薬品株式会社,

<sup>3</sup> 北里大学獣医学部獣医学科, <sup>4</sup> 東京医科歯科大学生体材料工学研究所

2-IV-10 LC-MS/MS を用いた食品中のピロロキノリンキノンの分析法について還元型 PQQ やアミノ酸付加体を考慮した条件の検討

●平川祥成<sup>1</sup>, 加藤主税<sup>2</sup>, 藤田和弘<sup>1</sup>, 三毛門毅<sup>3</sup>, 仲川清隆<sup>4</sup>

<sup>1</sup> 一般財団法人日本食品分析センター, <sup>2</sup> 静岡大学学術員・農学領域, <sup>3</sup> 三菱ガス化学株式会社,

<sup>4</sup> 東北大学大学院・農学研究科農芸化学専攻

12:00 ~ 13:00 ランチョンセミナー 4 (アスタキサンチン研究会・富士化学工業株式会社)

(座長: 矢澤 一良)

#### 〔アスタキサンチン研究の新展開〕

「アスタキサンチンの魅力およびその商業的生産」

西田 康宏(富士化学工業株式会社)

「ミトコンドリア栄養素としてのアスタキサンチン」

内藤 裕二(京都府立医科大学)

13:10 ~ 14:40 研究自由集会

#### 『第2回臨床ビタミン学を語る会』

話題提供: 静岡県立総合病院 リサーチサポートセンター 田中 清

大学の研究者・企業関係者など, ヒト対象のビタミン研究に関心のある方が集い, 研究を進める上での課題や必要なサポートなどにつき, 情報交換・ディスカッションを行い, ヒト対象ビタミン研究を推進し, 横のつながりを作って共同研究を目指す会.